分 類　学習支援

ドリームジョブ（７年生）

事業の背景・目的

社会で働く人たちの話を聞くことで、自己の将来の進路を考えるきっかけにする。
社会の人たちとかかわることで、言葉遣い、挨拶などの社会常識を学ぶ。

事業の概要

多様な職種のゲストティーチャーを１０名招聘。１クール 50 分を２クール。
生徒は２社の話を聞くことができる。

特徴および工夫した点

一般企業、公務員などの生徒たちが普段目に触れないような多種多様な職種の方を招聘した。

成　果

生徒たちが職業を意識するきっかけになった。企業の方たちに学校を知ってもらうこともできた。

今後の展望

生徒たちが希望する職業に近い方も招聘できるようにしていく

児童・生徒の感想

・２社聞いたどちらの方も会社に入ってからも努力できる人が必要だということ知ったので、努力できる人になりたいと思った。

学校紹介

学校名　品川区立東海学校
校長名　蜂屋 隆子
住所　品川区東品川 3-30-15
電話　03-3471-6951
URL　https://school.cts.ne.jp/tokai/
品川コミュニティ・スクール設置年度　平成３０年度
登録ボランティア数　10 名
学校地域コーディネーター　月岡 明希子

分 類　その他（行事支援 地域連携）

地域の高齢者の方々との交流

戸越台特別養護老人ホームでの演奏会

事業の背景・目的

地域の方々と生徒とが交流できる新たな機会を作っていくことを目標としている。今回は、生徒が普段取り組んでいる部活動をきっかけとして、生徒の積極的な行動を促すことができるような企画を考えた。

事業の概要

多くの方々が共感しやすい音楽という切り口から、吹奏楽部の生徒が高齢者施設へ出向き演奏の披露を通じて、地域の高齢者と生徒とがお互いに喜び合える時間を共有することを目指した。

特徴および工夫した点

生徒自らが主体となって準備や運営に取り組むことができるよう、楽器の持ち運びなどを考慮して近隣の高齢者施設にご協力をお願いした。また、高齢者の方々が一緒に歌えて楽しめるよう、親しみやすい曲選びをした。

成　果

会場全体が笑顔あふれる中で交流が深まり、再度の開催を期待する声が多く聞かれ、生徒の自信にも繋がった。

今後の展望

演奏会は恒例行事として続けていきたい。また、他の多くの生徒にも地域の方々と交流できる場を作っていきたい。

児童・生徒の感想

施設のお年寄りが、自分達の演奏を聴いて喜んで下さり、とても嬉しかった。また是非演奏しに行きたい。

学校紹介

学校名　品川区立大崎中学校
校長名　実松　美智代
住所　品川区西品川 3-10-6
電話　03-3491-6623
URL　https://osaki-jh.shinagawa.andteacher.jp/
品川コミュニティ・スクール設置年度　平成 30 年度
登録ボランティア数　52 名
学校地域コーディネーター　深田　とし子

サキチュウレンジャー

分 類　学習支援・環境整備支援・その他（行事支援、働き方改革、地域連携、一貫プラン　他）

「高知の食を知る」

「高知県食育授業」

事業の背景・目的

浜川中学校は土佐藩下屋敷跡にある学校であり、玄関には坂本龍馬像が鎮座している。ゆかりのある土地、高知県について農林水産業を通して理解する。７年生から学んできた土佐（高知県）について最後の学びとなる。

事業の概要

対象：９学年特色のある教育「高知県の食育授業」として実施　座学「高知県及び農林水産業の紹介」高知県東京事務所、「生産者とのオンライン交流」土佐文旦農家、実演実習「土佐文旦の皮むき」土佐文旦アンバサダー。高知県の特産である土佐文旦の生産者とつなぎ、農家としての苦労ややりがい等伝えてもらう。実際に土佐文旦を剝き、食することで高知の生産物に愛着を持ってもらう

特徴および工夫した点

平成２５年度から継続している授業。最近は土佐文旦を中心に学習しているが、過去には鰹節（出汁）、ショウガ、高知野菜全般、天敵昆虫など様々な視点から学んでいるが話を聞くだけでなく実際に食することでより身になる学びになる。

成　果

土佐藩下屋敷跡にある学校として坂本龍馬や高知県をさまざまな角度から学ぶことで品川との違いや自分たちの地域の良さ、特徴などが改めて感じることができる。またゆかりの土地高知に愛着を感じる

今後の展望

高知を学ぶことで得た興味を深める学習ができるといいと思う。また学んだことを地域に伝える機会を作りたい

児童・生徒の感想

・高知県に行ってみたいと思いました。・これを機に高知県を調べようと思います。・この学校と高知県との交流をもっと深めてほしいと思いました。土佐文旦を知ることができてよかった。おいしかったです。

学校紹介　学校名　品川区立浜川中学校
校長名　小野　智
住所　品川区東大井 3-18-34
電話　03-3761-1014
https://hamakawa-jh.shinagawa.andteacher.jp
品川コミュニティ・スクール設置年度平成 28 年度
登録ボランティア数　30　名
学校地域コーディネーター　巻島　淳子

はまりょう

分 類　学習支援

～さあ、いよいよ入試モード！！～

９年生入試対策模擬面接ボランティア【有識者面接】

事業の背景・目的

入試対策として、より多くの面接練習ができる機会を設けると同時に、教員とは違う視点からの助言を受けることで、自信を持って本番に臨めるようにすることが目的である。生徒一人一人が普段とは違う緊張感や臨場感を経験できる貴重な場となっている。

事業の概要

地域の有識者が面接官となって本番さながらの面接を行う。面接を行うだけでなく、講評からアドバイスまできめ細やかな指導をする。品川コミュニティ・スクール事業開始と同時に始まった学習支援で、校内では【有識者面接】として定着している。

特徴および工夫した点

① 生徒が明確な目的をもって自主的に参加し、面接練習に臨めるよう希望制とした。
② ボランティアが面接手順や質問内容等の詳細を確認した上で準備ができるよう、生徒用面接冊子(教員作成)を事前に配布した。

成　果

生徒は希望して面接を受けているため、意欲的な姿勢で臨んでいた。また地域の方々にとっては、直接生徒と関わることで学校を知る良い機会となった。

今後の展望

積極的に面接官を引き受けてくださるボランティアが増えており、今後はさらに充実した内容の活動が期待できる。

児童・生徒の感想

有識者面接というだけで緊張する・色々アドバイスをもらえる・入退室から難しかった等、普段と違う経験に様々な感想があった。

学校紹介　学校名　品川区立鈴ケ森中学校
校長名　二宮　淳
住所　品川区南大井２－３－１４
電話　０３－３７６５－２８４９
URL　http://school.cts.ne.jp/suzu-j/
品川コミュニティ・スクール設置年度　平成２８年度
学校地域コーディネーター　奥田　智子

分 類　学習支援・環境整備支援・その他（行事支援、働き方改革、地域連携、一貫プラン　他 ）

ともに学び、考えよう　～ＳＮＳとのつきあい方～

インターネット安全教室

事業の背景・目的

こども家庭庁の調査(令和５年度)で小学生の７割、中学生の９割、高校生のほぼ１０割がスマートフォンを持っているという結果が出ている。この結果を踏まえ、こどもたちがＳＮＳとのつきあい方やインターネットの正しい利用方法を知り、自ら考えることを目的とした。

事業の概要

７年生を対象に、インターネットの仕組みとＳＮＳとの付き合い方についての講座、並びにＳＮＳの問題点について生徒同士で考えるワークショップを行った。講師には校区教育協働委員でもある専門家の方を迎え、夏期休業直前の 7/10 に実施した。

特徴および工夫した点

SNS とのつきあい方について、生徒たち自身で具体的に考えることができるよう、全体で講座を受けた上で、グループに分かれてのワークショップを行った。

成　果

生徒たちは、インターネットの仕組みを知り、ルールを守って安全に利用することの大切さを知ることができた。

今後の展望

この事業を他校へ報告したところ、とても良い取り組みであると好評。今後、広まっていくことが期待できる。

児童・生徒の感想

SNS は色々な人が見るので先のことを考えてから投稿する、勝手に写真を送らないことが大切、SNS にはデジタルタトゥーがあるし誰に特定されるかわからないからどこにも発信してはいけないと思った、等。

学校紹介　学校名　品川区立鈴ケ森中学校
校長名　二宮　淳
住所　品川区南大井２－３－１４
電話　０３－３７６５－２８４９
URL　http://school.cts.ne.jp/suzu-j/
品川コミュニティ・スクール設置年度　平成２８年度
学校地域コーディネーター　奥田　智子

分 類　学習支援・環境整備支援・その他（行事支援、働き方改革、地域連携、一貫プラン　他 ）

中学生が地域の防災を担う

冨士見台中学校　学生消火隊の結成

事業の背景・目的

学校・地域の防災力を強化するため、生徒がD級ポンプの取り扱いができるようになることを目標に行った。

事業の概要

学生消火隊を結成し、当該生徒がD級ポンプの取り扱いを学ぶ。
第三地域防災訓練での地域・学生消火隊の操法訓練に向けて訓練を行った。

特徴および工夫した点

昨年はD級ポンプの指導を自分一人で行ったが、今年は大井消防団と連携して指導を行った。消防について興味をもち生徒が主体的に活動できるような環境づくりをした。

成　果

ホースの展張や放水時の水圧を感じるなど D 級ポンプ操作を学び自分たちでできるようになった。

今後の展望

生徒募集の際に学生消火隊に魅力を感じやりたいと思える伝え方をしていきたい。小中連携した活動ができないか模索していきたい。

児童・生徒の感想

皆楽しかったと言っていた。「自分はこれがやりたい」と主体的に行っていた。

学校紹介　学校名　品川区立冨士見台中学校
校長名　石黒　晋
住所　品川区西大井 5-5-14
電話　03-3772-0900
URL　http://school.cts.ne.jp/fujimi/
品川コミュニティ・スクール設置年度　平成 28 年度
登録ボランティア数　０名
学校地域コーディネーター　鈴木　雅也

分 類　学習支援・環境整備支援・その他（行事支援、働き方改革、地域連携、一貫プラン　他 ）

「大人とのしゃべり場～トーク・フォークダンス」

品川コミュニティ・スクール DAY【地域健全育成運営協議会】

事業の背景・目的

コロナ禍で学校と地域に距離ができてしまった。
地域の大人を中心に多くの大人と会話することで、それぞれが距離を縮まる

事業の概要

荏原第一中学の８年生全員と地域の大人を中心にお題に合わせて会話をし、
フォークダンスのように回転して色々な属性の大人とおしゃべりをする

特徴および工夫した点

８年生全員に相対する人数を集めるために荏原第一中学校区の小学校はじめ近隣小学校に声をかけ、PTA、学校地域コーディネーターへもロコミを依頼しました。

成　果

生徒が臆することなく、大人と話し、大人もしっかり応えて、距離が縮まった。

今後の展望

多くの大人にお越しいただきましたが、
近隣の地域の方をより呼び起こしたい。

児童・生徒の感想

（児童・生徒の感想）
大人と喋ったことは楽しかった

学校紹介

学校名　品川区立荏原第一中学校
校長名　黒田　佳昌
住所　品川区荏原１丁目２４-３０
電話　03-3785-1680
URL　https://ebara1-jh.shinagawa.andteacher.jp/
品川コミュニティ・スクール設置年度　平成 30 年度
登録ボランティア数　　名
学校地域コーディネーター　　杉本　将輝

分 類　学習支援

支援で学校を変える

授業ボランティアと図書室開放

事業の背景・目的

家庭科や技術科で実技を行う際の支援をお願いしたい、また図書室の開放時間を延長したいとの要望が先生からあり、新たにボランティアを募集し活動しました。

事業の概要

家庭科ではミシンと調理実習時の支援、技術科ではのこぎり・かんながけ等の作業時の支援、図書室開放時には本の貸出対応や自主学習の見守りを行いました。

特徴および工夫した点

図書室の開放時間は、生徒の要望に応えられるよう検討し、部活で再登校になる日や試験前一週間などを主に実施しました。

成　果

授業の支援では安全かつ効果的に授業を行うことができ、図書室開放では利用生徒が増えました。

今後の展望

ボランティアに関わってくださる方が少しでも増えるような取り組みをしたいです。

児童・生徒の感想

・ボランティアの方のお陰で、上手くできて嬉しかったです。
・非常に楽しかったです。

学校紹介

学校名　品川区立荏原第五中学校
校長名　伊藤　恵造
住所　品川区旗の台５-11-13
電話　03-3781-5643
URL　https://ebara5-jh.shinagawa.andteacher.jp/
品川コミュニティ・スクール設置年度　２９年度
登録ボランティア数　２７名
学校地域コーディネーター　髙橋　みゆき

分 類　その他（行事支援、働き方改革、地域連携、一貫プラン　他 ）

生徒主体の活動【校則改定について】

事業の背景・目的

生徒が主体的に学校に関わるための取り組みとして、令和５年度から校則の見直しを実施。地域の方々からの意見も参考にしていくために、コミュニティースクールデイを実施した。

事業の概要

生徒が校則を見直し、繰り返し話し合いを行いました。コミュニティースクールデイに生徒会役員が参加し、校区教育協働委員と話し合いを行った。

特徴および工夫した点

公正・目的の視点から、各学年・各クラス・各委員会の代表生徒を中心に実行委員を組織した。

成　果

校則の見直しを通して、生徒一人一人が学校生活のあるべき姿を考える良い機会となった。地域の方から多くのアドバイスを頂き、今後の校則見直しの参考とすることができた。

今後の展望

この活動を今回限りのものにするのではなく、定期的に校則の見直しを継続していきたい。

児童・生徒の感想

実際に話し合いを進める中で、想像以上に難しいことがたくさんありました。今回の校則見直しを通して「自分の意見を伝える事の大切さ」について知ることができました。

学校紹介　学校名　品川区立荏原第六中学校
校長名　稲葉慶太
住所　品川区小山 5-20-19
電話　03-3781-7776
URL　http://school.cts.ne.jp/ebara6
品川コミュニティ・スクール設置年度　平成 29 年度
登録ボランティア数　５名
学校地域コーディネーター　吉野由紀子

分 類　学習支援・地域連携

『働くこと』を体験してみよう！

～8 年生職場体験～

事業の背景・目的

今年度は９月２６・２７日の２日間の日程で受け入れ先の交渉をした。
職業の種類や働くことの意義などを学び、働くことの大変さやすばらしさを職場の方に聞き、仕事を体験することにより、将来の職業について考えるきっかけをつくる。また、地域との交流を通して、社会に貢献をする意識や社会生活に最低限必要なマナーやルールを学ぶことを目的とした。

事業の概要

教職員、学校地域コーディネーターとで区内の事業所へ受け入れの依頼をした。事前に生徒がそれぞれの職場に電話でアポイントを取り、職場へ出向き挨拶と打ち合わせをして、２日間の職場体験を行った。

特徴および工夫した点

過去にお世話になった事業所はもちろんのこと、新規の事業所にも受け入れの声かけをして、より多くの事業所の確保に努めた。
職場体験は地域の協力が必要不可欠である。地域のことを考えるきっかけをつくるために、品川コミュニティ・スクール DAY や事前学習などで、「地域」をテーマに取り上げた。

成　果

地域社会の中に、さまざまな職業があることを理解し、働くことの意義を考えるきっかけとなった。「働くこと」の責任感・やりがい・厳しさなどを学んだ。事前学習「まちの人に聞く会」で地域のことをより知ることができた。

今後の展望

新規受け入れ先や業種を増やして、生徒の将来の選択肢を多くしたい。
職場訪問、職場体験を通じて、地域と学校・中学生をつないでいきたい。地域のことをより知ってもらう。

児童・生徒の感想

普段できない体験ができた。　様々な人と触れ合うことができた。
お客様の対応が大変だったが今後に活かせそうだ。
仕事はその時々に応じての行動が難しい。

学校紹介　学校名　品川区立戸越台中学校
校長名　栢之間　晃
住所　品川区戸越 1―15―23
電話　03－3781－6250
URL　https://school.cts.ne.jp/togosi-j/
品川コミュニティ・スクール設置年度　平成 30 年度
登録ボランティア数　28 名
学校地域コーディネーター　原野　美智子